令和7年度　　授業改善推進プラン　3 年　　美術　　科

1 日常の学習状況･課題について

（1）学習状況について
①発想や構想及び創造的な表現の学習に対する取組については、学年が上がるごとに、積極的に課題に取り組む生徒が増加している。
②鑑賞の学習に関して、じっくりと対象と向き合って見る力や深く考える力の不足により、自己表現と結びつけて深化させることが難しい生徒も見られる。

（2）学習の課題について
学習面・独創力、発想力について、もう一歩、自分の表現を深められると良い。参考作品などからヒントを得て発想につなげることに課題がある生徒がいる。対象をていねいに見る姿勢はできてきている。

2 改善の計画

(1)授業回数を最初に提示し、時間内に作業が完成できるように計画的に取り組ませる。
(2)黒板を使い、授業のねらいや具体的な目標をその時間ごとに簡潔に示す。
(3)参考作品や参考図書をできるだけ多く用意し、美術室での展示も工夫することで、生徒の意欲とイマジネーションを高める。
(4)作業進度の速い生徒に対する課題を用意する。作業進度の遅い生徒については可能な限り個別指導を行う。グループ形式の学びあいを有効に活用する。
(5)道具の準備・片付け、作品配布の方法を工夫し、それに費やす時間の短縮を図る。
(6)鑑賞と表現が連結した指導計画を工夫する。
(7)課題ごとに制作手順を明確に示し、個々の生徒が計画的に見通しをもった取組ができるようにする。
(8)効果的な場面でグループ形式の学び合い学習を取り入れていく。
(9)基礎知識を分かりやすく指導するためにビジュアルで解説するなどの工夫をする。毎回宿題を課し、授業内容の定着を図る。

3 非認知能力を高めるための手だて

(1)映像などを用いてひきつけ活動意欲を伸ばす。
(2)単元の前後で計画の時間･振り返りの時間を設け､自分の学習を見通せるようにする。

4 プランの評価方法

（1）授業アンケートを行い、変容を見る。
（2）年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。